

地域振興推進費事業計画・自己評価書（実績）

提出区分		実績	整理番号	1	課題区分	C	令和6年3月29日			
横断的な課題		信州まつもとと空港の利用促進と拠点整備の推進								
地域重点政策		信州まつもとと空港の利用促進と拠点整備の推進					松本地域振興局			
実施機関		松本地域振興局			担当課	所属	企画振興課			
事業名		信州まつもとと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業				電話	0263-40-1902			
						E-mail	matsuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp			
事業概要等	目的 (目指す姿)	信州まつもとと空港を利用して来県される観光客等に対して、利便性の高い周遊観光手段や魅力的な観光資源の提供等を行うことで、空港を利用した県内各エリアの観光需要を拡大する。								
	現状と課題	1 信州まつもとと空港利用者について 信州まつもとと空港の利用者は、令和元年度の15万7千人以降、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、R4年度には22万8千人と回復傾向にある。アフターコロナにおける観光やビジネス需要に対応するため、既存路線の拡充や沖縄県との交流促進等により、「信州まつもとと空港の発展・国際化に向けた取組方針」の実現に向けた取組が求められている。 2 レンタカー利用促進キャンペーンについて 空港を利用して来県される観光客等に対して、利便性の高い周遊観光手段や魅力的な観光資源の提供等を行い、県内各エリアの観光需要を拡大するため、R3.7月から、空港からレンタカーを利用される方を対象にしたキャンペーン事業(レンタカー利用者にドライブパスポートを配布し、パスポートに掲載の店舗を利用の際に割引等のサービスを提供する事業)を実施してきた。レンタカー利用台数は、R2年度2,798台に対して、R3年度4,241台、R4年度5,594台へ増加するとともに、松本管内の観光消費額も、コロナの影響があった中、R2年1,642億円に対して、R3年1,648億円へ増加した。引き続き、本事業を継続し、レンタカー利用及び観光需要の拡大を推進する上で、現在の使用方法(パスポートにクーポンを掲載し、店舗での提示によるサービス利用)が適当であると考えるが、利用率の把握が対象店舗への聞き取り調査となり、利用者の属性把握や正確性、即時性に劣る等の課題もある。								
	内容 (変更後の内容)	令和3年7月から配布している観光パスポート「信州まつもとと空港発『レンタカーDeぐるっ得パス』」について、引き続き、レンタカーの利用促進及び観光需要の拡大を図るため、以下の事業を実施する。また、現行のパスポートの有効期限が令和6年3月31日までのため、対象エリアの見直しや店舗追加等によるパスポートのアップデートを図る。 [事業内容] ①現観光パスポート利用者への抽選によるプレゼントキャンペーンの実施 ②現観光パスポートの増刷(R5年度末までの配布部数確保に係る現観光パスポートの増刷) ③新観光パスポートの制作(一部電子化による利用者データの収集等) ・現在の使用方法(パスポートにクーポンを掲載し、店舗での提示によるサービス利用)から、利用者情報や特典を受ける手順に電子化(QRコード読み取りなど)を加えることで、利用者データの入手及び利便性の向上を図る。 ・対象エリアの拡大(現行の松本、諏訪、木曽及び北アルプスの4エリアから、松本空港利用者アンケート結果をもとに、長野及び上田の2エリア及び岐阜県飛騨エリアについても対象にすることを検討し、より広域的な周遊や観光需要の拡大を促進する。)								
	事業期間	令和5年5月 ～ 令和6年3月								
事業費等	(単位:円)									
	事業を構成する細事業名等		実施内容		実績額		備考			
	現パスポートキャンペーン事業		プレゼントキャンペーン事業委託		425,700		契約額			
	現パスポート増刷業務		現パスポート増刷		158,620		契約額			
	新パスポート制作業務		制作業務委託		3,724,182		契約額			
	新パスポート啓発業務		啓発チラシ等制作委託		133,375		契約額			
		合 計		4,441,877						
指標及び達成状況	成 果 指 標				目標値		成果		達 成 状 況	
	現パスポート利用者キャンペーン参加人数 (R4キャンペーン参加者数13人)				90人		16人		○ 達 成	
	新観光パスポート掲載(特典提供協力)店舗数 (現パスポート掲載店舗数108店舗)				140店舗		131店舗		○ 一部達成	
									● 未 達 成	
事業実績・成果	【実績・成果】 ・現行版パスポートの配布部数は約4,000部と前年度配布5,600部の約7割程度であった。パスポート利用によるレシート応募キャンペーン参加者は、前年度比3人増の16人に留まったものの、応募口数と応募者の消費総額は、前年度比約2倍に及んだ。 ・改訂版のパスポートにおいては、掲載エリアを4エリアから7エリアに拡大するとともに、協力店舗は現行版の108店舗から131店舗へと増加した。また、クーポンの使用や掲載店舗の概要確認等をWeb(QRコード読取)化し、店舗の利用促進、使用者の使いやすさ、空港利用者の傾向把握等に資するシステムを構築できた。 【課題・改善点】 ・現行版パスポートの配布数は、空港カウンターからのレンタカー提供の一部休止もあった中で、松本駅や塩尻駅付近のレンタカーショップ6店舗にも配布を拡大したものの、前年より減少した。Webにも対応した改訂版パスポートへと移行する中で、冊子形式による配布方法の見直しや、内容改定のしやすさを活かした掲載店舗拡大などを検討し、費用対効果を上げていくよう努める。 ・現行版パスポート(レシート)キャンペーン事業についても、周知や応募の方法がパスポート自体と分離していたので、Webにも対応した改訂版パスポートへと移行する中で、利用者の認知度を高め、県内消費を促進する。									
	今後の方向性									
今後の方向性		観光等に伴う空港需要が高まっている現状に乗じて、改訂版のパスポート(Webクーポンによる利便性向上、利用登録による動向把握)をツールとした空港利用者のさらなる周遊観光の促進による地域振興を図っていく。								